the perfect tasting experience
begins with design.

ダラコルテ

dc　pro取扱説明書

安全上の重要事項

警告

取り扱いを誤ると事故につながる可能性があります。

感電注意

電源コードまたはプラグが破損している場合、マシンが正常に作動しない場合、マシンが損傷した場合はマシンを作動させないで下さい。

高温注意

運転中は大変熱くなりますので直接手を触れないで下さい。
火傷などのケガをする恐れがあります。

禁止事項

禁止事項を表します。
(対象は不特定)

分解禁止

マシン内部(主に電子部品)の分解･修理･改造などを行わないで下さい。
火災や事故などの原因となります。

挟み込み注意

挟み込まれる恐れがありますので、直接指や手を入れないで下さい。

アース工事

電気ショック等を避ける為、必ずアース線を取り付けて下さい。

水掛け禁止

本体のコントロール部やマシン上部には直接水を掛けないで下さい。
マシンの故障につながるだけではなく、感電事故などの原因となる恐れがあります。

安全にお使いいただくためのご注意

分解禁止

■マシンのメンテナンスはメリタのサービス･スタッフ又はメリタが認定したサービス･スタッフにご依頼下さい。第三者が行ったメンテナンスにより問題が生じた場合は、メリタジャパン株式会社は一切の責任を負いません。

警告

■安全のために、異常な水圧や温度上昇を避けるための安全装置が内蔵されています。セフティーバルブ(安全弁)が作動した場合は、速やかにマシンのスイッチを切り、メリタのサービス･スタッフにお知らせ下さい。サービス･スタッフが対処する前に再度マシンのスイッチを入れたり、スイッチを切らずにそのままにしておくと大変危険ですのでおやめ下さい。

分解禁止

■マシンを改造された場合、オリジナルとは異なる部品を取り付けられた場合は、何れもメリタジャパン株式会社は責任を負いかねます。

■改良に当たって、メリタジャパン株式会社は予告なくマシンの仕様等を変更する場合があります。

警告

■マシンを暫らくご使用にならない場合は、クリーニングを行い、カス受けを洗浄して下さい。保管場所の気温が0℃になる可能性がある場合は、マシン内部の水を抜く必要がありますので、メリタのサービス･スタッフにご依頼下さい。

警告

■マシンを1週間以上ご使用にならなかった場合は、次にご使用になる際に1～2回クリーニングを行って下さい。

■この取扱説明書は、お読みになった後もマシン側の何時でも見やすい場所に保管して下さい。

感電注意

■全ての電気接続は、国内用の電源コードと他の適切なコードをご使用ください。

禁止事項

■薬品等を混合して使用しないで下さい。

安全上のご注意

この取扱説明書において、以下の安全に関する説明や記号は、機械を操作および維持する為に重要になります。

この取扱説明書の注意、警告以外に安全にご使用する為、下記のガイドラインを必ずお守り下さい。

■取扱説明書はご使用前に必ずお読み下さい。

■電気ショック等を避ける為、必ずアース線を取り付けて下さい。
そのアース線は電線とは別に設け、適切な定格のヒューズやブレーカーをアースの受け側に設けて下さい。

■全ての電気接続は、現地の電源コードまたは他の適切なコードをご使用下さい。

■器具の設置や取り付けは、この取扱説明書にある使用方法に基づく場合のみ行って下さい。

■腐食性薬品は使用しないで下さい。

■電源コードまたはプラグが破損している場合、マシンが正常に起動しない場合、またはマシンが損傷･落下した場合はマシンを作動させないで下さい。

■このマシンの整備は資格のある要員だけ行います。保守･修理はメリタジャパン株式会社に連絡願います。

■本体のコントロール部やマシン上部には直接水を掛けないで下さい。マシンの故障につながるだけではなく、感電事故などの原因となる恐れがあります。

注意	
	この取扱説明書にある幾つかの手順は、機械の電源を切ったり絶縁状態にする必要があります。 電源をオフにし電源プラグを外して下さい。 上記を守らない場合は感電する可能性があります。

水質条件

給水条件は製品仕様書をご確認の上接続して下さい。
給水条件をお守りにならない場合、水に関係する部品は保証対象外とさせていただきます。

保証

以下の保証に関する記述は、その条件の下において無償修理等をお約束するものです。よって購買者又は使用者の法定上の権利を制限するものではありません。

ダラコルテ dcpro 本体の保証

メリタジャパン株式会社は次の条件を満たし、製品の不具合、弊社の不適切な作業、部品の不具合が原因で起きた故障は、部品の交換及びその作業を無償で行い、製品の性能を維持する。

A. ダラコルテ dcpro の保証期間は購入または設置から12ヶ月とします。 但し、指定以外のパーツやマシンの誤使用並び、適切なクリーニングを行っていない場合は除外します。

B. 保証は製品がメリタジャパン株式会社より販売された場合に適用します。

保証条件

- 当該製品が適切に設置され、取扱説明書の手順に従って使用されている場合。
- 修理または保守作業をメリタジャパン株式会社から派遣した技術員以外が行なった場合はこの保証は無効になります。

技術サービス

技術サービスはメリタジャパン株式会社が行います。

保守メンテナンス

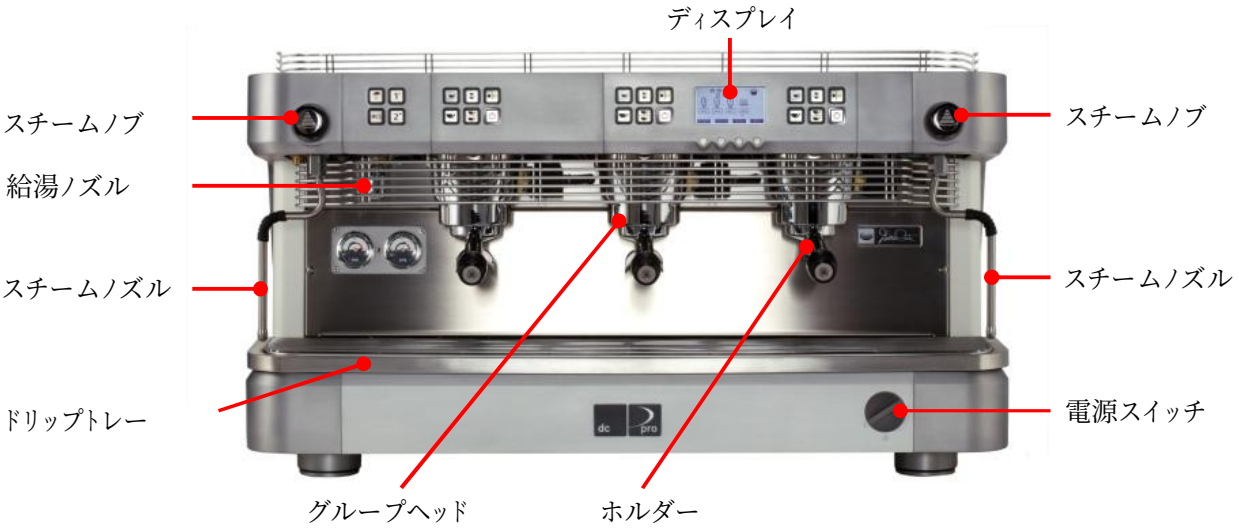
有償保守メンテナンスのご案内は別途ご案内申し上げます。

除外事項

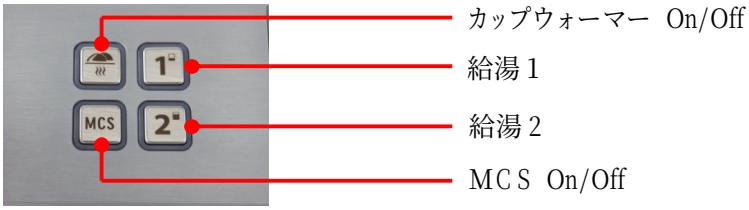
A. 次の場合は、本体の保証を適用しないこととします。

1. 損傷や故障が、事故･誤使用･不注意･この取扱説明書に定める不適切な使用またはクリーニング不足により発生した場合。
2. 損傷や故障が、不適切な浄水装置の使用による不純物の混入又はスケール付着が原因である場合。
4. 損傷や故障が、取扱説明書と異なる使用方法により発生した場合。
5. 当該製品をメリタジャパン株式会社が派遣した以外の未承認の者により修理･改造された場合。
6. 商品のシリアル番号が取り外されたまたは損傷した場合。
7. 天災地変（地震、台風、洪水等）、通常保険により保証される災害による損傷。
8. 指定のメンテナンスを行わないことによる故障。

各部の名称

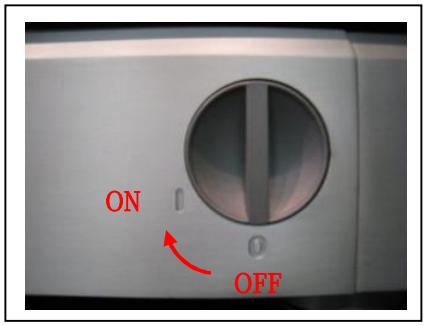

ディスプレイ
スチームノブ
給湯ノズル
スチームノズル
ドリップトレー
スチームノブ
スチームノズル
電源スイッチ
グループヘッド
ホルダー

S1 シングルカップ 1
S3 ダブルカップ1
マニュアルボタン
20.05.2010
12 40
WASH
CRONO
MENU
INFO
グループヘッド On/Off
S4 ダブルカップ 2
S2 シングルカップ 2
選択ボタン

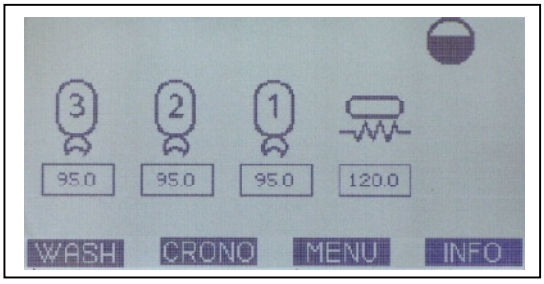

カップウォーマー On/Off
給湯 1
給湯 2
MCS On/Off
MCS

セットアップ

給排水接続、電源接続を確認してください。
次にマシンのセットアップを開始します。
給水バルブを開けます。給水ラインで水漏れが発生していないか必ず確認してください。
ブレーカーに入･切を確認し、スチームダイヤルが閉まっていることを確認し、本体の電源をONにしてください。
電源スイッチは時計回りに回すと電源がONになります。



ディスプレイに右のような表示が表示されることを確認してください。



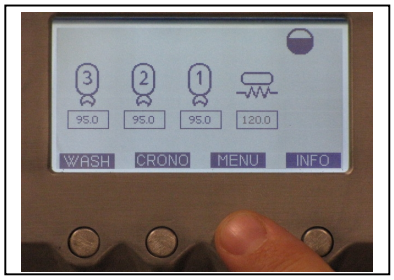
本体の電源がONになると、ボイラーへの給水が始まり◒マークが点滅を開始します。
ボイラーへの給水が完了すると◒マークの点滅が停止し、点灯に変わります。このマークの点灯はボイラーの水位レベルが正常であることを表します。
その後、ディスプレイの温度表示が点滅を開始し、加熱が開始します。ボイラーと各グループヘッドが適切な温度に達すると加熱が停止し、『ピーッ･ピーッ』という音とともに温度表示は点滅から点灯に変わります。

これでマシンのセットアップは完了です。

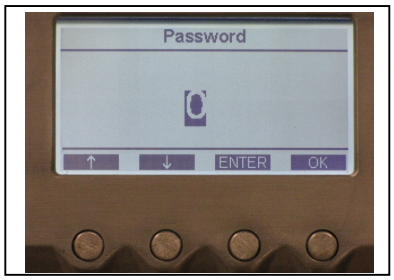
各種設定

dc pro はコーヒー抽出や温度調整、電力消費などに関わる機能を最大限に活かすために、各機能の設定を状況に応じで変更することが可能です。
※この取扱説明書に記載されている設定箇所以外の設定変更はメリタジャパン株式会社から
　技術トレーニングを受けられた方のみ行ってください。

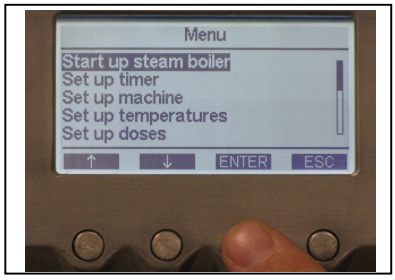
各種設定は次の手順で行います。



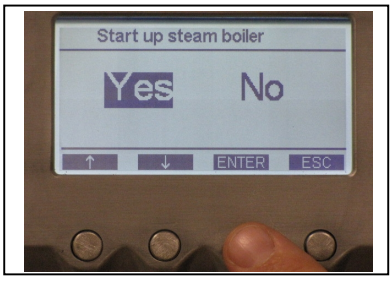
ボタンを押し、パスワードを入力します。
パスワードは 5 つの数字から構成されています。
設置時の初期設定は『11111』となります。



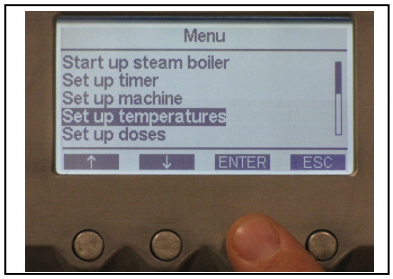
パスワードを入力するには ↑ ボタンを使用します。
入力したい数字が現れたら ENTER を押して入力します。
5つの数字を入力したら OK を押してください。
入力したパスワードが間違っている場合にはディスプレイに『ERROR PASSOWRD』と表示され、数秒後に自動的にメイン画面に戻ります。
パスワードが正しく入力された場合にはメニュー選択画面が表示され、各種設定を行うことが出来ます。



『Start up steam boiler』 ボイラーの活性･非活性化
メインボイラーを活性化または非活性化させることが出来ます。
ENTER を押すと次の画面が表示されます。



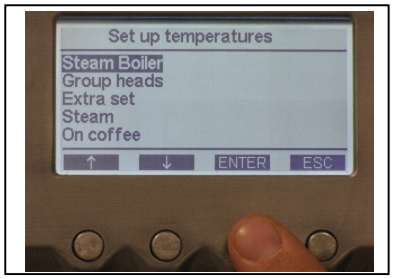
↑ または ↓ を押すことで『Yes』または『No』を選択することが出来、ENTER を押して決定します。
『Yes』を選択した場合はメインボイラーが On になり、『No』を選択した場合には Off になります。



『Set Temperatures』

↑ と ↓ を使用して『Set Temperature』を選択し

ENTER を押して決定します。



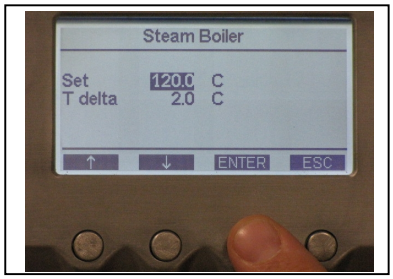
『Steam Boiler Temperature』

ボイラーの設定温度はスチームと連動します。

初期設定:

Set 120℃

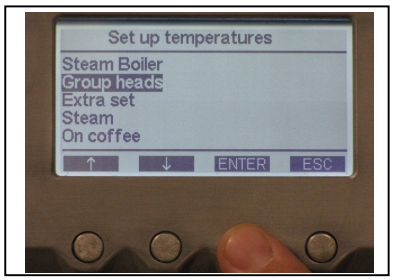
T delta 2℃



ENTER を押します。

↑ と ↓ を使用して数値を入力し、ENTER を押して決定します。

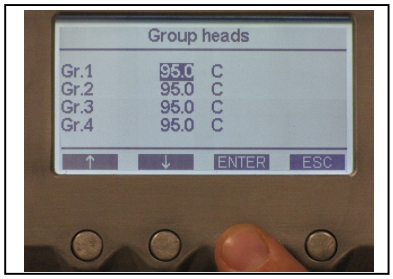
『T delta』の設定は変更しないでください。



『Group Heads Temperature』
各グループヘッドの温度を設定します。

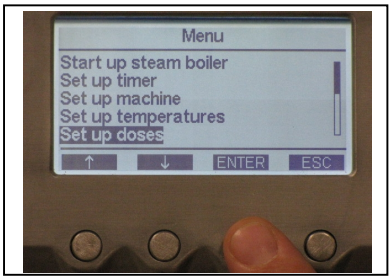
初期設定は各グループヘッド 95℃です。

↑ と ↓ を使用して設定するグループヘッドを選択します。



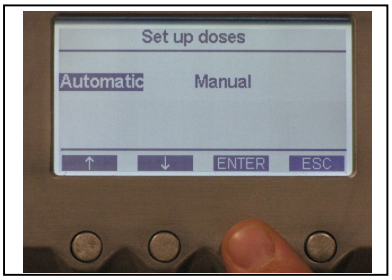
ENTER を押します。
↑ と ↓ を使用して数値を入力し、ENTER を押して決定します。

各グループヘッドの設定が終了しメニュー選択画面に戻るには ESC を押します。



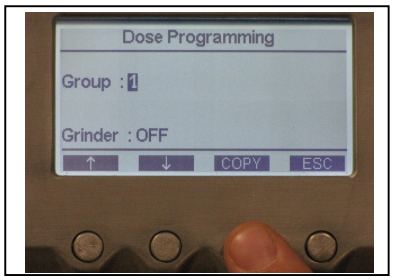
『Doses Steup』
各グループヘッドの湯量を設定します。
オートマチックとマニュアル、2 通りの設定をすることができます。

※GCS システムを使用する場合はマニュアルを使用しない。



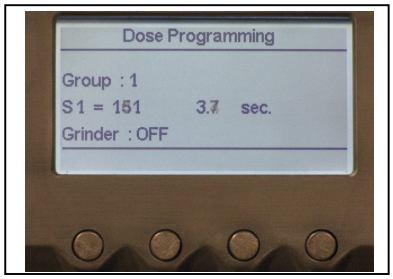
湯量を決定する前に湯温、粒度、粉量の調整が済んでいることを確認してください。

↑ と ↓ を使用して『Automatic』、『Manual』を選択し、ENTER を押して決定します。

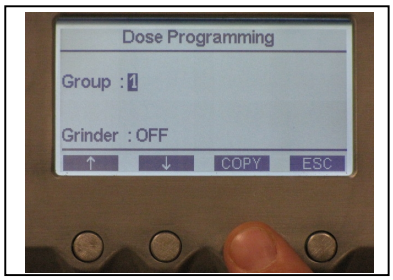


実際にコーヒーを抽出し、グループヘッド1（右）を設定します。

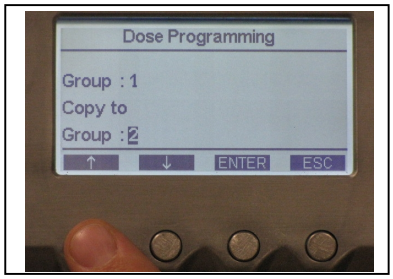
S1 シングルカップ1
S2 ダブルカップ2
S3 シングルカップ2
S4 ダブルカップ2



抽出を開始するとディスプレイにはパルス値と経過時間が表示されます。
実際の抽出量を確認して湯量を決定してください。



各グループヘッドで設定した内容はその他のグループヘッドにコピーすることができます。
↑ と ↓ を使用してコピー元にしたいグループヘッドを選択し、COPY を押します。

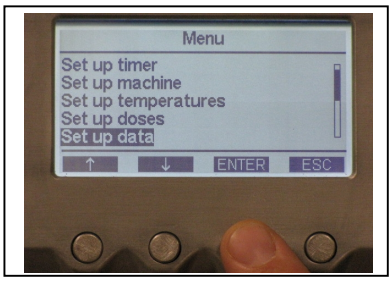


↑ と ↓ を使用してコピー先を選択し、ENTER を押して決定します。

5 Set up doses 1			
S1-1	180	5.2	sec.
S2-1	250	0.7	sec.
S3-1	180	5.2	sec.
S4-1	250	0.7	sec.

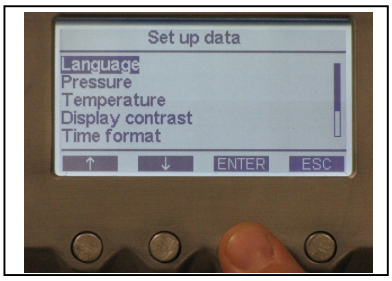
↑ ↓ ENTER ESC

『Automatic』モードで決定した設定を『Manual』モード（左図）で微調整することが可能です。

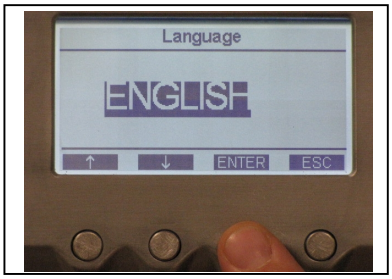


『DATA SETUP』

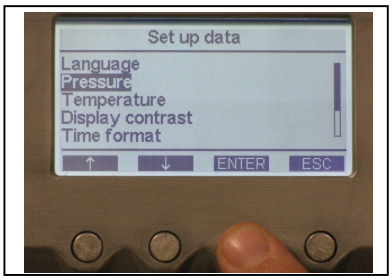
『Set up data』を選択し ENTER を押します。



『LANGUAGE』を選択し ENTER を押します。

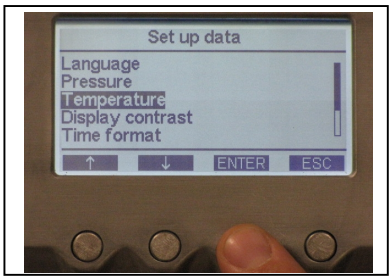


↑ と ↓ を使用して言語を選択し、ENTER を押して決定します。

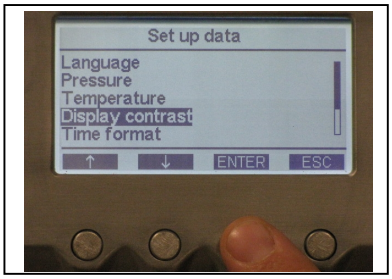


『Pressure』を選択し ENTER を押します。

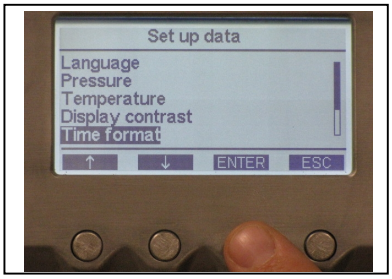
↑ と ↓ を使用して圧力表示を Bar または PSI から選択し、ENTER を押して決定します。



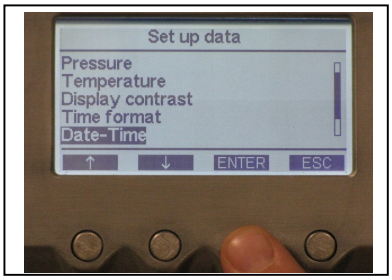
『Temperature』を選択し**ENTER**を押します。
↑と**↓**を使用して温度表示を℃または°Fのいずれか選択し、**ENTER**を押して決定します。



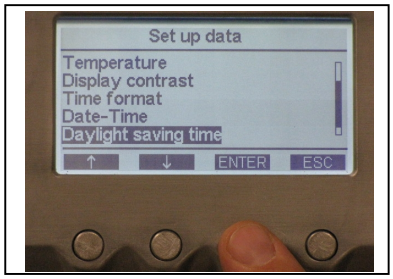
『Display contrast』を選択し**ENTER**を押します。
↑と**↓**を使用してモニターの明るさを調整し、**ENTER**を押して決定します。



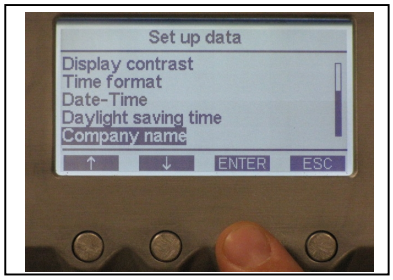
『Time format』を選択し**ENTER**を押します。
↑と**↓**を使用して日時の表示形式を EURO または USA から選択し、**ENTER**を押して決定します。



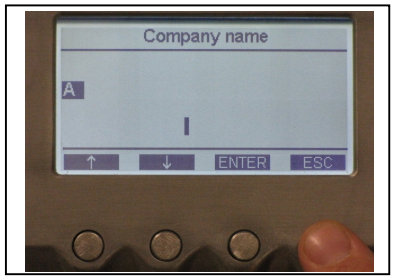
『Date-Time』を選択し**ENTER**を押します。
下図のように入力画面が表れます。**↑**と**↓**を使用して日時を設定し、**ENTER**を押して決定します。



『Daylight saving time』を選択し**ENTER**を押します。
↑と**↓**を使用してデイライトセービングタイムの
有無を YES または NO から選択し、**ENTER**を押して決定します。

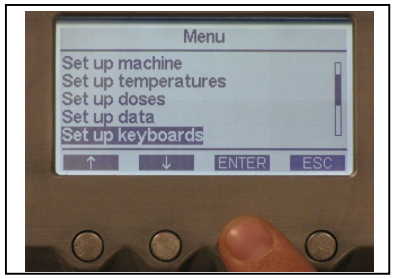


『Company name』を選択し**ENTER**を押します。



↑と**↓**を使用してアルファベットで文字を入力し、
ENTERを押して決定します。

『Set up data』に戻るには**ESC**を押します。
『Menu』に戻るにはもう一度**ESC**を押します。



『Set up keyboards』
※設定の変更は技術トレーニングを受けられた方または技術者
のみ行うことができます。

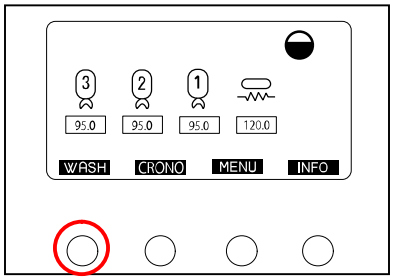
洗浄方法
デイリークリーニング

フィルターを外して、ブラインドフィルターを取り付けます。

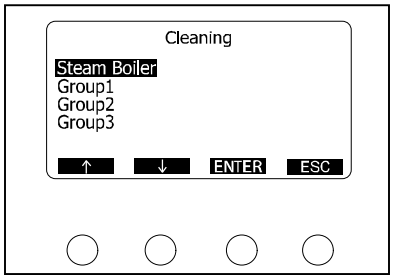
DC のクリーニングにはスワールを使用します。
付属にスプーンで3ｇ計量します。

スワールをブラインドフィルターに入れます。

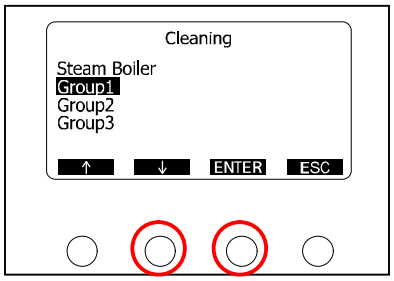
洗浄するグループヘッドにセットします。



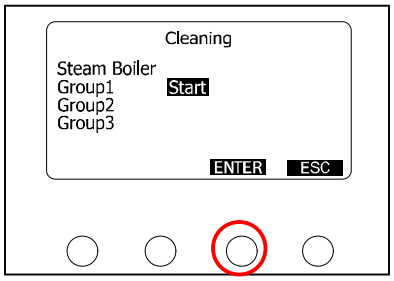
WASHを約 5 秒間長押して洗浄モードに入ります。



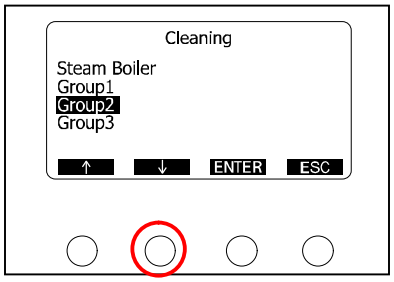
洗浄モードに入るとモニターにこの画面が表れます。



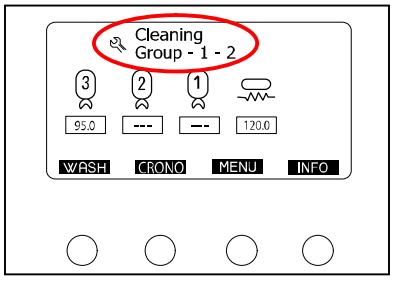
↓を押して洗浄を行うグループヘッドを選択し、
ENTERを押します。



再び **ENTER**を押して洗浄を開始します。



再び **WASH**を長押し、違うグループヘッドを選択すると、同時に洗浄を実行することができます。



洗浄中のグループヘッドはモニター上部に表示されます。